



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは世界をつなぐ

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

2570地区ガバナー 鈴木秀憲

第3グループ
ガバナー補佐 徳永真澄

つなげる：未来へつなぐ 変化：変える（基本に戻る）

第2875例会 2019. 9. 25

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 晴 (NO. 56-13)

会長 土屋 崇 幹事 中里 忠夫

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当番 安藤君、新井(景)君

例会場：ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：東京電力パワーグリッド湘川越支社飯能事務所内 〒357-0021 飯能市双柳353-4

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@titan.ocn.ne.jp

- ・点鐘 土屋会長
- ・ソング 手に手つないで 四つのテスト
- ・ビジター (坂戸さつき) 岡部みゆき様
- ・卓話 服部融亮会員

【会長報告】

小谷野正弘会員にマルチプルフェローのバッジを贈呈します(拍手)。

9月は「ロータリーの友月間」でもあります。ロータリアンの三大義務は出席、会費納入、雑誌購読。9月号表紙のチェスリー・ペリーはシカゴRC5番目の会員で、RCの三賢人の一人。RI事務総長を32年間務め、雑誌「ザ・ロータリアン」を創刊、職業奉仕の有用性を強調した事でも知られています。三賢人のあと二人はA・F・シェルドン(「最もよく奉仕する者、最もよく報いられる」とF・コリンズ(「超我の奉仕」)。「ロータリーの友」は1952年7月の創刊、今年で66年目。9月号は通算801号。「ザ・ロータリアン」以外に32地域で発行される「ロータリー・ワールド・マガジン・プレス」の1つです。「主婦の友」に因んだ命名で名付け親は遠藤健三氏(岐阜RC)。代金200円(会費から支出)。毎月9万6000部が発行されていますが、1997年は14万2000部でした。是非お読み下さい。



【幹事報告】

次週、第5回役員理事会です。例会後、パスト会長会議。声を掛け合ってください。

◎岡部みゆき様(坂戸さつきRC)ご挨拶
「ロータリーの友月間」で地区代表委員として各クラブを回っております。動きのある写真と記事の投稿をお願いします。冊子「ロータリー」

は説明せずとも勧誘出来る内容ですので名門飯能RCには多くの購入をお願いします。中里(忠)幹事は地区増強委員としてもご活躍ですが、12月に「増強フォーラム」を初開催します。会場は熊谷ですが、ロータリアンになってくれそうな方を是非お連れ下さい。



◎町田誠一会員より退会のご挨拶

在籍中は皆様に良くして頂き有難うございました。これからもどうか仲間外れにしないでお付き合いをお願いします。お世話になりました。

【委員会報告】

◎指名委員会 間邊君

次週パスト会長会議。ご出席お願い致します。

◎米山記念奨学委員会 大野(隼)君

本日、副会長の高橋弘会員より米山奨学特別寄付10万円を頂戴しました(拍手)。

【出席報告】無届欠席0 川口出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正
全数	対象	出席数	出席率	出席率
60名	6名	48名	80.00%	90.00%

【M U】

9/24 (日高) 山川君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・お世話になります。「友」を読んで下さい。岡部みゆき様(坂戸さつきRC)
- ・岡部みゆき様ようこそ！お世話になります。和泉君、服部君、田辺君、高橋君
- ・服部様、卓話有難うございます。間邊君、田辺君、高橋君、神田(敬)君、坂本君
- ・例会担当させていただきます。服部君

- ・早退します。吉田(行)君
- ・急用のため欠席します。申し訳ありません。新井(康)君

本日計 12,000 円、累計額 229,501 円。

◎ 2 日例会当番は新井(康)、天ヶ瀬会員です。

【卓 話】

講師紹介 大崎プログラム委員長
各委員会に 1 回の担当卓話をお願いしています。本日は「社会奉仕委員会」。委員長自らお話を頂けるとの事でもよろしくお願い致します。

社会奉仕の新しい事業展開について

飯能RC 社会奉仕委員会 委員長 服部融亮 会員

昨年度は時間の関係もあり出来ませんでした。今年度、RC 財団の地区補助金を申請したところ、7/26 に承認を頂き、「飯能RC 創立 55 周年記念事業」と銘打って、来たる 11/9 にサッカー大会を開催させて頂く事となりました。

名称は「第 1 回飯能ロータリークラブカップ U-10 サッカー大会」(青少年健全育成事業・社会貢献事業)。併せて「ボカジャパン」サッカースクールも開催します。主催:飯能RC。後援:飯能市、飯能市教育委員会、BOCA JAPAN。協賛:(グラウンドを借用する)飯能信用金庫、(3 年前、皆様に創立に立ち会って頂いた)飯能インターナショナルスポーツアカデミーとなっています。

●大会の目的

(文科省 HP より)「スポーツは心身の健やかな発達を促すとともに、それを通じて克己心や自己責任、フェアプレーの心を身に付けることができます。また、仲間や指導者との交流を通じて、コミュニケーション能力や他人に対する思いやりをはぐくむなど、青少年の健全育成に重要な役割を果たしていることから、子どもたちが日常生活の中で気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりが求められます」。これを受けて、「**青少年の健全育成**」に寄与する環境を提供する機会の 1 つとサッカー大会を捉え、これを飯能RC が運営するものです。対象は小学校 3~4 年生。高学年に比べ、この年令の大会が少ない事に着目しました。併設イベントのサッカークリニックでは、年令に応じたスキルアップの指導をしていきたいと考えています。

鈴木ガバナーの運営方針に「奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させる」「様々な例会や奉仕活動の経験が出来る新しいタイプのクラブ運営」とあります。当事業は地域のニーズと大会運営のノウハウを使いたいというニーズとの、2 つの間をつなぐ、「新しいタイプのクラブ運営」です。ノウハウはあっても知名度・公共性・集客性・資金力が不足している団体と、RC がタグを組む事で、地域の新しい活動体になれるものと考えます。「RC の目的は社会奉仕活動の実践を行う事よりも、その必要性を会員に自覚させ、さらには地域社会の人を取り込んで実践させる事に主眼が置かれる」というのが RI の立場です。このような**社会貢献事業**が新たな社会奉仕の経験となり、「新しいタイプのクラブ運営」の 1 つの手本ともなれば、同様の大会を他所でも独自に運営出来るのではないかと他クラブへの発信にもなると考えております。

●RC の役割

「後援」はあっても「自分達で運営する」となるとなかなか出来るものではありません。また、



このような大会というのは自分達が汗水流して行うものですが、私達 RC はあくまでも仲介役で、特に汗水を流さずに冠大会が運営出来るものと考えています。

●大会運営団体

「(ボカ・ジュニアーズ日本支部の)ボカ・ジャパン」は世界に通用する人材を育てる目的でサッカースクール

を運営する団体です。スクールは花小金井、品川、多摩、浦和、調布、飯能にあります。「ボカ飯能ジュニアユース」は開設当初 U-13 だけでしたが現在は U-14、15 と 3 学年揃っており、卒業生の中にはアルゼンチンや桐生第一高校に進学した子も居ます。ボカ・ジュニアーズが輩出した選手にはマラドーナ、バティストウータ、テベス、高原直泰等がおります。

●大会の運営方法

飯能信用金庫総合グラウンドの野球場の外野は天然芝で、そこに 2 面と、テニスコートの 1 面をフットサルコートとして使用します。セレモニーには飯能RC 土屋会長にお出で頂き、閉会式にはトロフィーを授与して頂きます。飯能市長にもご臨席賜れればと思っております。参加資格は 8 人制で、男女、国籍不問。スポーツ障害保険に加入して頂きます。試合時間は 30 分(半ばに 3 分休憩)。現在までに野田、秩父、朝霞、坂戸、上尾、日高、毛呂山から各 1 チーム、都内、川越、飯能から 2 チームずつ、青梅から 3 チーム、計 16 チーム 201 人の選手が来飯する予定です。

飯能では 1 校だけで編成出来るスポ少は少なく、複数の学校で 1 つのチームをつくって市内には 4 チームしか無いそうです。今回、加治地区のサッカー大会と重なってしまい、スポ少からは「飯能ジュニア」だけの参加となります。

8 時 30 分から開会式。表彰式 16 時 40 分。17 時 10 分終了予定。優勝チームおよび 5 位までのチームにトロフィー、MVP 賞にメダルと盾、ゴレアドール(スペイン語で「得点者」)賞(大会得点王) 1 名、ファインプレー賞 1 チームに賞品を用意しています。トロフィーやメダル等には、RC マークと「飯能ロータリークラブ U-10 サッカー大会 令和元年 11 月 9 日」の刻印。フェアプレー賞のチームには RC の名入れタオルを贈ります。

●大会予算

申請時、(収入) 1000 ドルの地区補助金、クラブからの拠出金。(支出)大会運営・会場設営・審判員費: 77 万 2 千円、ポスター作成費、トロフィー作製費等。精査したところ、(収入)青少年奉仕、社会奉仕の委員会予算の全てを拠出する事は出来ない、(支出)ポスター代が割とかかってしまった事、トロフィー費が抑えられた事で約 2 万円の超過となっています。

思いとしては、2024 年、飯能RC 60 周年には「第 5 回」を開催し、2570 地区内のチームと対戦を行い、2029 年、65 周年の「第 10 回」では全国大会、70 周年「第 15 回」にはワールドカップを開催したいという気持ちでおります。

拠出金 30 万円を出来れば皆様にお願ひしまして、ニコニコ BOX に納めて頂く気持ちで、予算が埋まればいいなと思っております。この位の予算で、飯能RC の冠大会が続けていけるという事がこれからの強みになっていくのではないかと思います。是非ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。